

**【英比小学校 久田鏡亜】**

僕は、「かるた」「こま」「折り紙」の3つの遊びについて紹介しました。特にうれしかったことは、発表の内容を理解してくれたことです。笑顔で聞いてくれる子、うなずいて真剣に聞いてくれる子などから、さまざまな感情を受け取ったときに「発表を考え、練習してきてよかった」と心の底から思いました。そして、ほかでは感じられない達成感がありました。



**【英比小学校 小高胡春】**

私は、外国人への接し方を学ぶことができました。2日目に行った現地の学校では、バディのジジちゃんとすぐに友達になることができました。それは、「笑顔」のおかげだと思います。私は英語が全然話せませんが、とびきりの笑顔と簡単な単語で気持ちを伝えることができました。ジジちゃんも理解してくれてうれしかったです。

**【草木小学校 太田美唯】**

特に心に残っていることは、授業の違いです。日本では、先生が前に立って授業をしますが、現地の学校は、自分で目標を決めて、個人で学習を進めていました。分からないことは、旗を上げれば教室にいる先生が来て、教えてくれるそうです。ほかにも、年齢関係なくクラスが決められていて、中学生のクラスに8歳の子がいたことにとっても驚きました。



**【草木小学校 苫原由奈】**

私が海外派遣事業で頑張ったことのひとつは、現地の人に英語で声を掛けたことです。写真撮影をお願いするときは、相手が忙しそうではないかななどを考え、笑顔を意識してお願いしました。笑顔で「OK!」と言ってくれて本当にうれしかったです。とても緊張しましたが、とてもよい経験になりました。

**【南部小学校 澤田佳鈴】**

私のバディになってくれたソフィアちゃんは、私が発表しているときに、うなずいたり笑ったりしてくれました。校内案内のときは、簡単な単語をつなげて分かりやすく教えてくれました。私が反応して伝わったことが分かったら、ソフィアちゃんはとてもうれしそうにこっぴりと笑ってくれました。「理解し合いたい」というお互いの強い思いがあれば、身振り手振りや単語をつなげるだけでも、相手に伝わるということを学びました。



**【南部小学校 新美真莉子】**

私はコミュニケーション力の大切さについて学ぶことができました。海外に行けば、嫌でも英語を使うしかありません。片言でも話し掛けないと、相手も話さないの、気まづくなってしまう。上手でなくても、単語だけでもいいのでジェスチャーを入れて話した方がいいと分かりました。海外派遣を通して、心も大きく成長できたように思います。